

クマに注意!!

近年、仙台市内では、クマが市街地の近くでも目撃されるようになりました。
クマを人里に近づけない、クマに出合わないための注意が必要です。



ツキノワグマの特徴

体長 成獣で110cm～150cm

体重 成獣で80kg～120kg

嗅覚 非常に優れている

視覚 あまりよくない

聴覚 非常に優れている

特徴 全身が黒い体毛に覆われている。筋肉がたくましく、身のこなしはしなやか。木登り、穴掘りなどのための力が強く、爪も発達している。足は速く、時速40km程度に達する。行動圏は30～50km²程度。子グマは生後1年半ほど母グマと一緒にいる。

行動 春と秋に食べ物を求めて活発に行動する

食べ物 山菜、栗やドングリなどの木の実、柿等の果物やハチミツが好物。生ごみやコンポストをあさることもある。

クマを人里に引き寄せないようにしましょう

果実や野菜の
収穫は
お早めに!



生ごみの
管理の徹底を!



建物の蜂の巣は
放置しない!



クマが潜み
やすいヤブを
刈りましょう!



クマに出合わないために

出没情報の確認

新聞・ラジオ、仙台市からの出没情報を確認し、クマが出没している場所にはできるだけ近づかないようにしましょう。

クマの活動する時間や場所を避ける

早朝と夕方の薄暗い時間帯の外出は控えましょう。また、エサとなる果樹や河川敷、ヤブの近くは注意しましょう。

音を出すなど、自分の存在を知らせる

クマがいるような場所にやむを得ず近づく場合は、鈴やラジオなどで音を出して、自分の存在をクマに知らせましょう。

特にこんな時、こんな場所は危険です!

春 冬眠から目覚め、食べ物を求め活発に行動します。山菜取り等の際は要注意です。

夏 繁殖期に入り、オスはかなり気が立っています。特に登山やハイキング等の際は要注意です。

秋 冬眠に備えて、食べ物を求め活発に行動します。柿・栗などを求めて人里に下りてくることもあるので要注意です。

冬 クマは冬眠しますが、まれに冬眠期間中も行動するクマもいますので、ご注意ください。

クマの痕跡を見つけたら
すぐ引き返すなど、
細心の注意を!



足跡



フン



爪あと

それでもクマに出合ってしまったら

あわてない!

遠くにいるクマを見つけたら、あわてずクマに背を向けず、向き合ったまま後ろにゆっくり後退します。距離が十分開けばクマも落ち着きます。

騒がない!

クマに気づかれたら、騒がず冷静になることが大切です。ものを投げる、叫び続ける、走り回るなど、クマを興奮させるようなことは絶対にしないでください。

子グマであっても近づかない!

子グマの近くには母グマがいるので、子グマを見ても近づいてはいけません。

※一般に、効果があると言われている「死んだふり」は科学的な根拠はありません。

クマに関する出没情報や対策はこちらからご覧いただけます

仙台市ホームページ
「ツキノワグマ対策について」



クマ出没情報マップ



仙台市LINE公式アカウント
友達登録後「受信設定」から「クマ出没」を選択



メール配信サービス
(クマ出没情報)



クマを目撃したときはお近くの区・総合支所、環境局環境共生課または最寄りの警察署までご一報をお願いいたします。

■環境局環境共生課 ☎022-214-0013
■宮城野区役所区民生活課 ☎022-291-2111
■太白区役所区民生活課 ☎022-247-1111
■宮城総合支所まちづくり推進課 ☎022-392-2111

■青葉区役所区民生活課 ☎022-225-7211
■若林区役所区民生活課 ☎022-282-1111
■泉区役所区民生活課 ☎022-372-3111
■秋保総合支所まちづくり推進課 ☎022-399-2111